

三重県農業商業協同組合

## 食の安全安心農薬シンポジウムin三重2019を開催



7月23日、三重県農業商業協同組合(中村剛明理事長)は、三重県総合文化センターで「食の安全安心農薬シンポジウムin三重2019」を開催しました。

当日は、約300人が出席し、全国農薬安全指導者協議会会長橋爪雅彦氏から「農薬を不安に感じる方もいると思うが、90億に到達する人口を支えるため農薬の重要性は増していく。本シンポジウムを通じて農薬の正しい情報を知っていただきたい。」旨の挨拶がありました。その後、千葉大学名誉教授 本山直樹氏による「農薬とは何?」をテーマに基調講演、三重県立四日市農芸高等学校 卒業生、三重県立明野高等学校 在校生による「GAPの取得に取り組んで」をテーマに意見発表、最後に「食の安全安心と農薬の役割」について、生産者、消費者、行政関係者等によるパネルディスカッションが行われ、農薬へのイメージ、農薬の役割等を出席者に理解していただきました。

桑名鉄工協同組合青年部

## 「桑名鉄工協同組合青年部設立50周年記念講演」を開催

桑名鉄工協同組合青年部八日会(服部岳会長)は、7月28日、桑名市において、「設立50周年記念講演」を開催しました。青山学院大学陸上競技部長距離ブロック監督である原晋氏を講師に、「箱根駅伝から学ぶ人材育成術」をテーマに講演が行われ、2009年青山学院大学が33年ぶりの箱根駅伝出場を果たし、2015年には青学史上初となる箱根駅伝総合優勝へ導いた、弱小チームを最強チームへ変革した「チームづくり」「選手の育成」について話がありました。1,000名が来場し、鈴木英敬三重県知事、伊藤徳宇桑名市長より祝辞がありました。



白子駅前センター商店街振興組合

## 「しろこ夏まつり2019」を開催



白子駅前センター商店街振興組合(竹口久兵衛理事長)は、8月3・4日の2日間、「しろこ夏まつり2019」を開催しました。

「しろこ夏まつり」は今年で19年目を迎え、白子地区の夏まつりとして定着しております。当日は、白子駅前センター商店街が歩行者天国となり、すずかフェスティバル出場者の踊り、盆踊り、縁日ゲームコーナー、大道芸等が開催され、商店街の各店舗も出店し様々な料理等を販売しました。子供から大人まで多くの人々が楽しみ、大いに賑わいました。

桑名市寺町通り商店街振興組合

## 「まつり博」を開催します

桑名市寺町通り商店街振興組合(佐藤博之理事長)では、毎月3と8のつく日に、朝市が開催されています。

戦後より桑名別院を中心に、参拝客相手の門前前商店街として発展した名物朝市で、南北200mに渡るアーケード内には、近隣の農家や地元の商店が出張販売を行い、魚介類や八百屋など約45件もの露店が軒を連ね、新鮮な野菜、果物、海産物などを格安で販売しています。また、はまぐりや惣菜、和菓子、洋菓子等の食べ歩きも楽しめます。

三八市のほかにも、年間を通じて様々なイベントを開催しており、10月26日、27日には「まつり博」を開催し、特設ステージで太鼓演奏やダンスの披露、ゲームコーナーの設置やフリーマーケット等を行います。親子で楽しむことができるイベントです。

